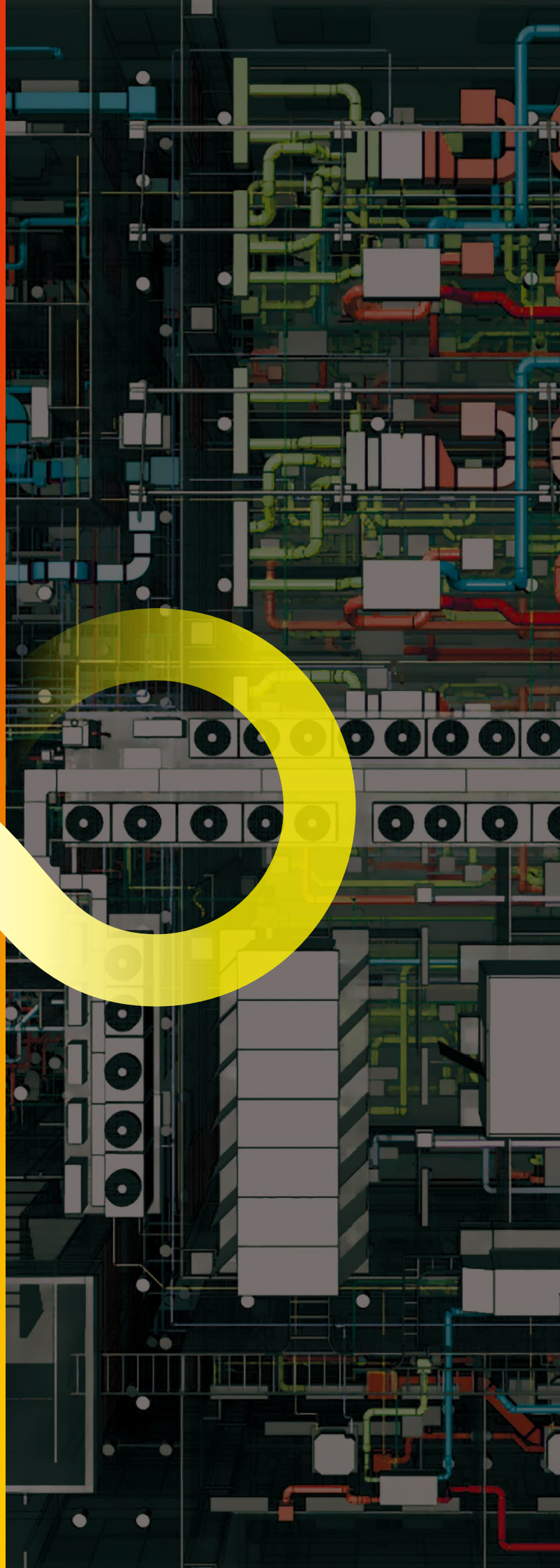




Fujitsu 建築設備CAD
CADEWA Smart





CADEWA Smartの 進化は止まらない。

慢性的な人手不足。若手への技術継承。働き方改革の推進。
いまの建設業界は、これらの課題を抱えながら
高いパフォーマンスを発揮しなければなりません。

新バージョンのCADEWA Smart V4.0では、
BIMを導入したワークフロー実現に向けて、
Autodesk®Revit®への親和性を強化。
そして、新たに搭載した「施工図自動作成」と
BIMモデルの「属性の見える化」の2つの機能により、
さらなる生産性の向上に貢献します。

DXの推進、BIMデータの活用を通じて
建設業の課題解決をサポートするため、
CADEWA Smartはこれからも進化し続けます。

BIMへの機能強化と自動作画を

DX支援

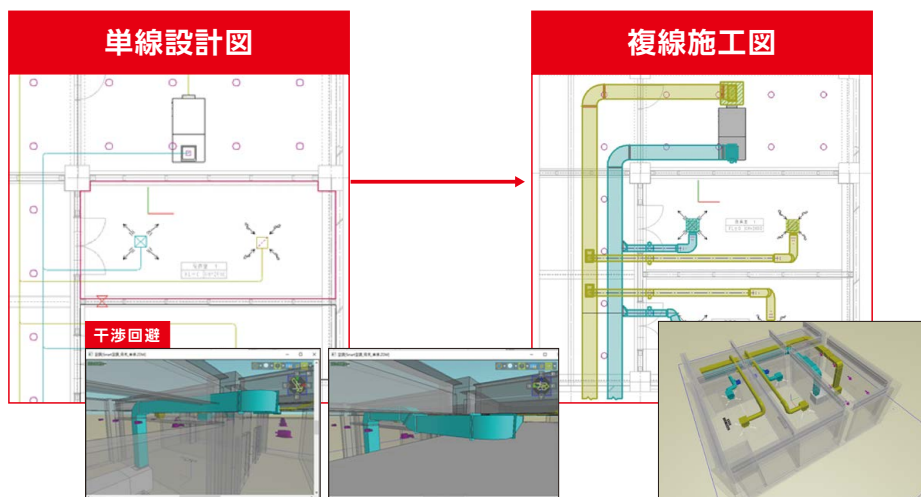
建設設備業のDXを強力に支援。時短に貢献する機能を紹介

施工図自動作成 特許出願中

CADEWA Smartで作画した単線設計図を基に、自動で機器とルートを設定に従ってレベルを調整し、干渉回避することで、複線施工図を作成することが可能です。

【自動化する機能】

- ・制気口風量からダクトサイズを自動計算して複線化
- ・天井裏スペースの適切な場所へ高さ変更
- ・離れた機器を接続(フレキ)
- ・干渉回避(建築、空調衛生ルート)
- ・必要部材発生(FD、短管、スリーブ)

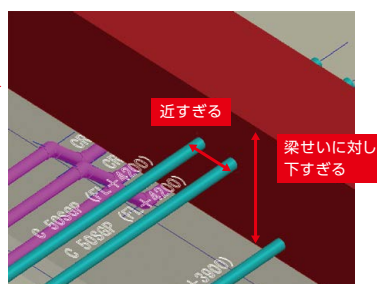
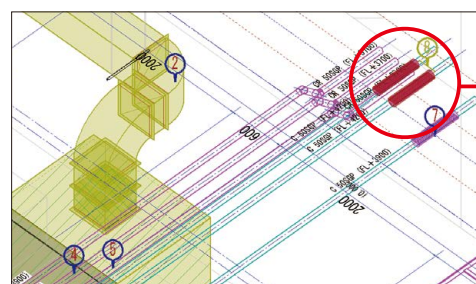


施工チェック 特許出願中

図面から一括で、不整合箇所や、べからず工事(間違った施工方法)をチェック可能です。手戻り工事が発生しないのはもちろん、質のいい図面の作成が可能です。

No.	チェック項目	チェック結果	コメント
1	ダクトの径	OK	
2	ダクトの長さ	OK	
3	ダクトの角度	OK	
4	ダクトの接続	OK	
5	ダクトの固定	OK	
6	ダクトの支持	OK	
7	ダクトの保護	OK	
8	ダクトの清掃	OK	

結果をExcel出力可能



梁貫通部材のチェック例

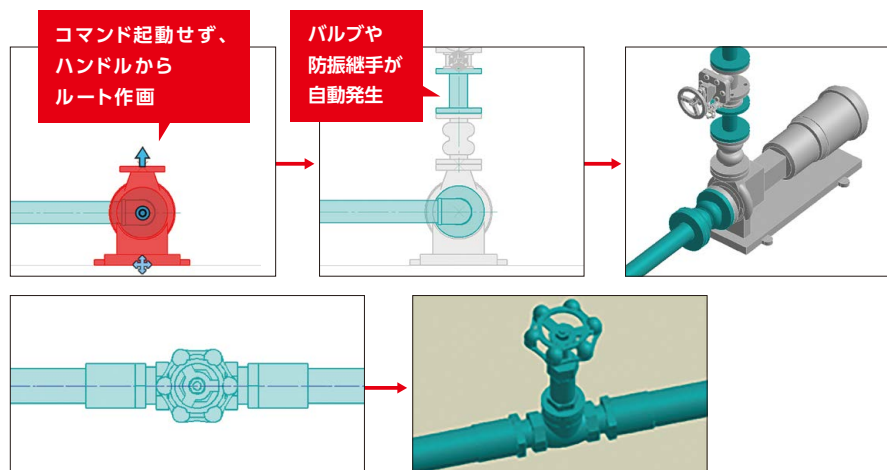
搭載チェック項目一部ご紹介

- ・ダクトアスペクト比
- ・ダクトエルボ曲率
- ・ホッパー角度
- ・異用途接続
- ・異種管接続
- ・鳥居配管
- ・配管勾配
- ・梁貫通スリーブ
- ・スピーカーの設置数
- ・電気室・EPSの配管貫通
- ・スプリンクラーの拡散半径
- ・屋内・屋外消火栓の設置位置
- ・スプリンクラーヘッドの取付位置
- ・防火区画貫通ダクトのFD配置
- ・歩行距離(消火器、排煙口、感知器、発信機、非常警報設備、避難口誘導灯、通路誘導灯)

全
62
項目

必要部材の自動発生

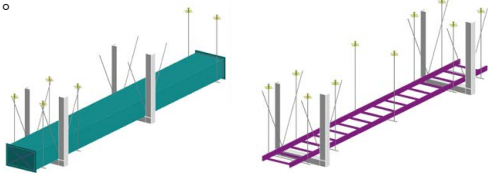
ポンプの配管作図と同時に必要部材を自動作画。他にも、ビニル管にネジ込みバルブを配置した際、自動でバルブソケットを作画します。早いだけではなく「抜け漏れ」を防止します。



搭載したSmartシリーズVer4

振れ止めの自動発生

インサートの作画と同時に、耐震基準に沿った吊金物を一括で作画できます。

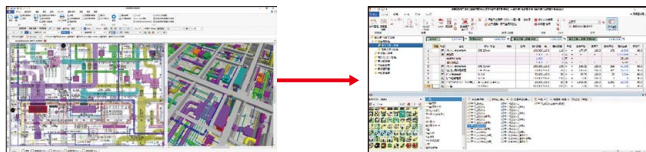


積算連携 見積CRAFT

CADEWA Smartの材料集計結果を、見積CRAFT DX連携データで出力し積算連携することができます。見積CRAFT DXの物件情報に直接変換するため、見積CRAFT DXでは、物件情報を開くだけで見積書をご確認いただけます。

CADEWA Smart

見積CRAFT DX

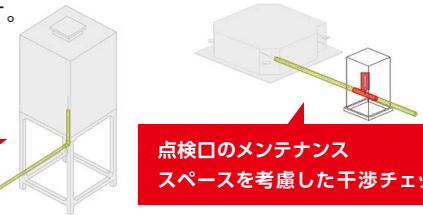


高精度な干渉チェック

部材の開閉領域や開口スペースを判断し、高精度な干渉チェックが可能。また、近接する部材の注意喚起、配管など保温材を加味したチェックもできます。

部材の隙間を
考慮した
干渉チェック

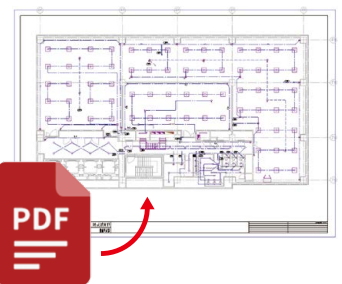
点検口のメンテナンス
スペースを考慮した干渉チェック



ベクトルPDF変換

編集可能なCADデータに変換

CADから直接PDF出力した、ベクトルPDFデータを線分などに変換することができます。CAD図面が入手できない場合でも、編集が可能です。

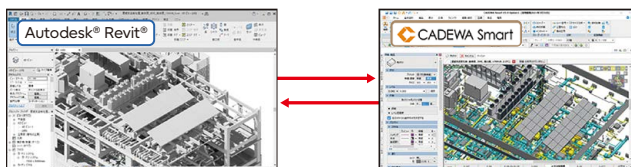


BIM

CADEWA SmartのBIM対応

Revit®互換

Autodesk®Revit®のネイティブファイル(.rvt)を中間ファイルを介さず読み/出力可能です。CADEWAでRevit®データを取り込む際、Revit®リンクやワークセットの情報を識別してシート分けし、参照するデータ、編集するデータを区別して扱うことが可能です。さらにRevit®アドイン[CADEWAマージ]を使ってデータ互換することで、Revit®が要素毎に保有するオリジナルIDを維持できます。これまで互換の度にオリジナルIDが変化し、形状BIMのやり取りだけだったものが、オリジナルIDを維持することで、CADEWAで編集されたデータを再度Revit®に戻した際、要素同士の紐づけが欠損しません。そのため、複数回のデータ往来が可能です。干渉チェックを目的としたデータ連携だけでなく、Revit®をプラットフォームとしたBIMワークフローに、設備CADであるCADEWAを組み込み、お客さまの生産性向上に貢献します。



中間ファイルを介さずネイティブファイルで互換
複数回のデータ往来が可能

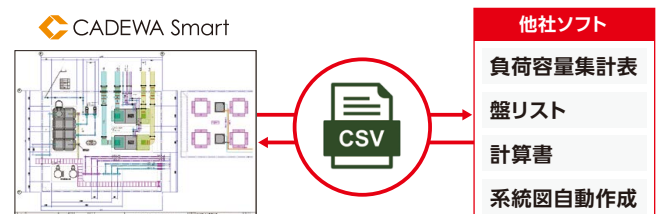
※「Autodesk® Revit®」は
オートデスク株式会社の
登録商標です。

IFC4対応

IFCデータ利用標準に対応。フレキ、さや管、可とう管、冷媒管の曲がり半径が正確に表現でき、用途情報の受け渡しも可能です。また、機器を部材登録しながら読み込みすることもでき、IFCデータの機器も集計できます。

BIMモデル情報のCSV入出力

選択したオブジェクトの一覧を、属性値と一緒にCSV形式で出力可能です。必要な情報をお客さま独自帳票に出力したり、他社ソフト連携などの利活用が可能です。また、編集したCSVをCADEWAに取り込み、情報を反映することが可能です。



CADEWA Smart 画面構成

1 リボンインターフェイス

誰でも馴染みやすい、リボンインターフェイスを採用し、類似コマンドを集約。直感的なコマンド選択が可能です。

2 プロパティ

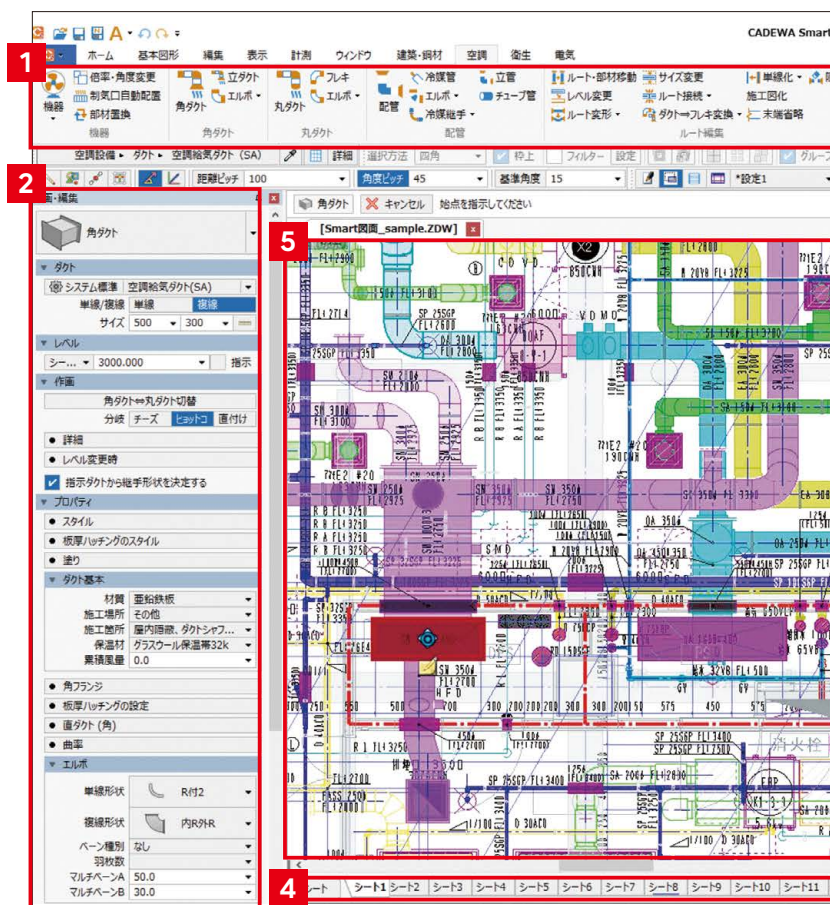
オブジェクトの情報が集約されたプロパティから、スタイル、材質、レベルの他管材や継手・バルブなどの種類、負荷単位や均等表などからの配管サイズ、制気口風量からのダクトサイズなどダイレクトに編集可能です。

3 各種パネル

パネルのレイアウトは自由な位置に配置が可能です。

さまざまな補助機能を搭載しています

- 施工チェック** : 問題が起きていないかをチェック
- 図面・ビュー管理** : フロアや断面ビュー、ペーパーレイアウト、外部参照、ラスタ等などを定義
- レイヤー** : レイヤーの確認や変更などを管理
- ブロック管理** : ブロックの作成・編集
- ビューポート管理** : ビューポートの作成・編集
- シート管理** : シートの作成・編集
- ジャンプリレー** : 「ジャンプ」する際の継続項目を設定
- 集計結果** : 指定範囲の部材を集計し表示

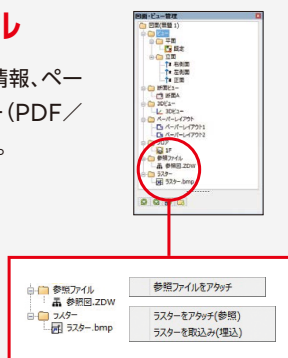


図面・ビュー管理パネル

1物件に対してビュー定義やフロア情報、ペーパーレイアウト、参照図面、ラスタ (PDF/画像データ)などを一元管理できます。

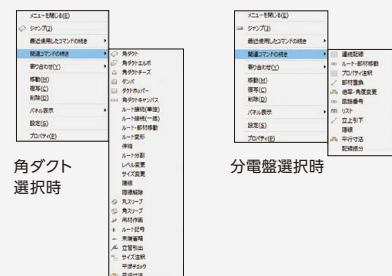
参照図面・ラスタ

管理パネルから参照図面、ラスタを簡単にビューに配置できます。



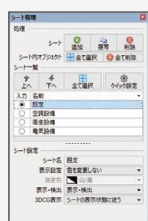
コンテキストメニュー〈右クリック〉

作画済みの要素上で右クリックすると「最近使用したコマンド」や「関連コマンド」が表示され、直感的なコマンド選択が可能です。



ペーパーレイアウト

モデルから複数の印刷用レイアウトを切り出します。任意の領域をビューポートとして切り出すことで、ビューで変更した結果を、ペーパーレイアウトに即時反映できます。



システム複数起動・自由なレイアウト

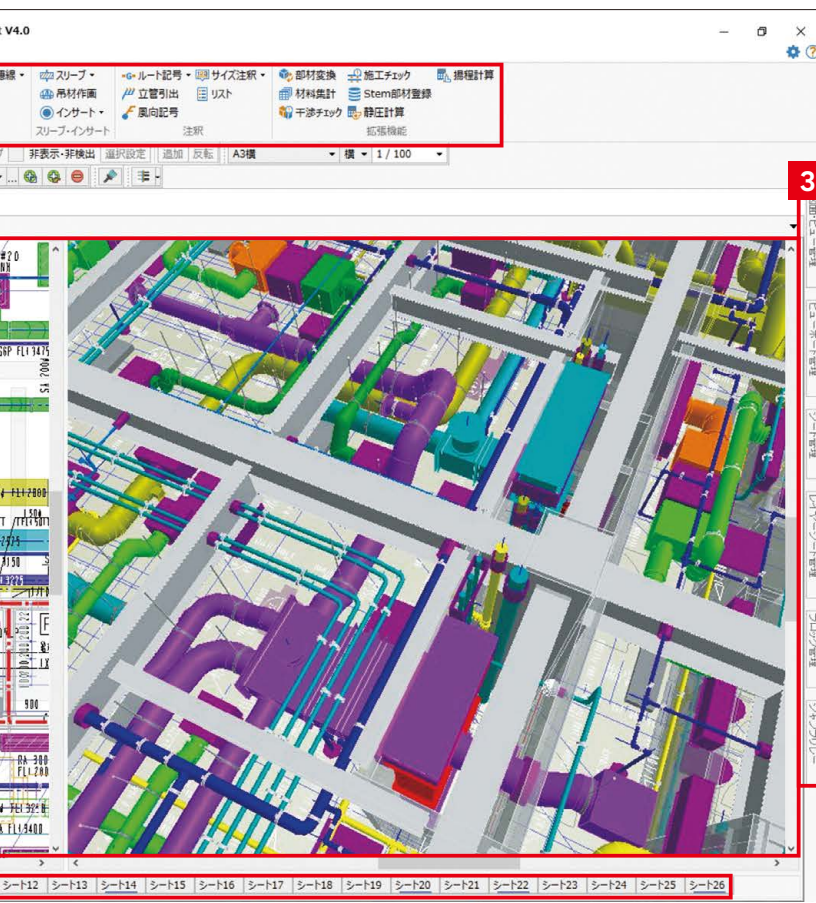
1. システム複数起動

それぞれの画面で別コマンドを起動し、デュアルディスプレイで作画編集可能です。

2. 自由なパネル配置

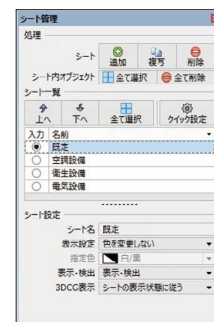
ビューや各種パネルをポップアップし自由な配置をすることで、作画領域を広くするなどカスタム可能です。





4 シート

用途や区画に応じて描き分け可能。
シート毎に表示・検出・3D表示の
設定もできます。
また、レイヤー毎の表示・非表示状態を
シートに割り当てることができます。



5 ビュー

平面・立面・側面だけでなく、何枚でも自由に面を設定でき、
どの面からでも作画編集が可能です。
「CG」表示切替ボタンを押下することで通常ビュー表示と3DCG
を簡単に切り替え可能です。

画面操作ツールバー

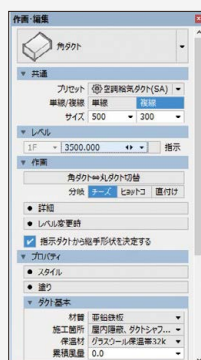
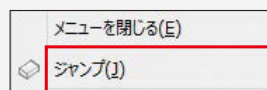


表示に関する操作方法や
視点方向などが設定できます。

左のBOXから平面/正面/側面の
視点を簡単に切り替えられます。

ジャンプ

配置済みの部材・要素を「右クリックしジャンプ」することで同じ部材・要素を作画できるコマンドを自動選択します。作画条件も自動で設定されるため、作業効率が大幅にアップします。



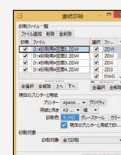
印刷・連続印刷

平面・断面・CGビューやペーパーレイアウトなどを印刷可能です。色毎の線幅・線種・ピッチなどを設定し印刷環境として作成できます。また、連続印刷や、印刷テンプレートファイルを活用し、複数の図面を同一の設定で印刷したり、レイヤーシートの設定を活用した印刷が可能です。

印刷設定画面



連続印刷



図面の一括変換

複数のデータを指定したCADデータ形式に一括変換が可能です。関係業者とのデータのやり取りもスピーディーに対応できます。



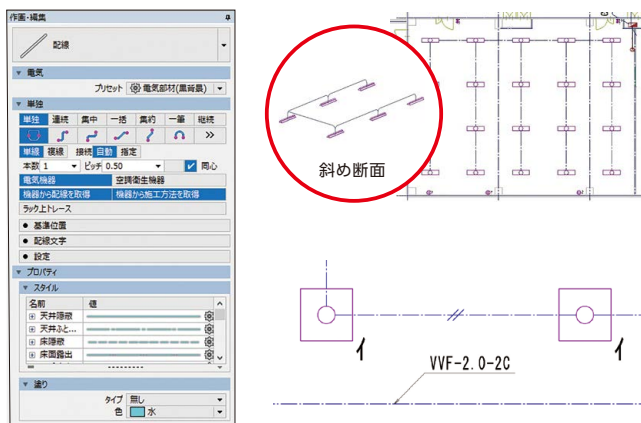
さまざまな検索機能

1. 文字の検索と置換
図面内の文字を検索し、置換することが可能です。一括の文字変更など作業を支援します。
2. 属性検索
部材の属性で検索が可能です。該当部材を簡単に特定します。



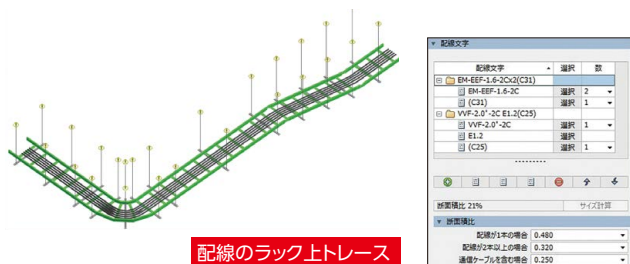
配線作画

単独配線や、一括配線、一筆書きモードなど多彩な配線作画を用意しています。また、プロパティや配線文字作画で配線情報を付与することができます。



- ・ R付きパターン配線作画や自動隠線、省略記号作画
- ・ シンボルから適切な配線種別や施工方法を取得し作画
- ・ 配線レベルは施工方法毎に予め設定可能

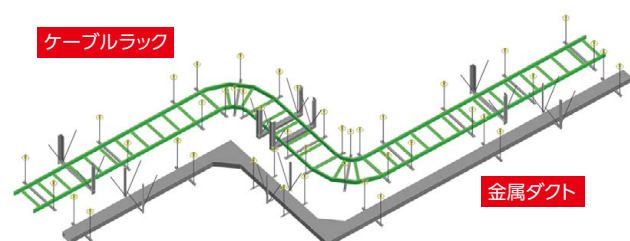
また、1本の電線管に複数の配線情報を設定し、配線の断面積に応じて電線管の適切なサイズを計算します。他、ケーブルラックの上に簡単に配線をトレース作画する機能などを用意しています。



配線のラック上トレース

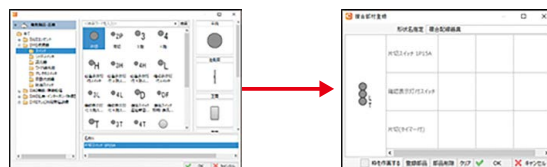
複線ルート作画

ケーブルラック、レースウェイ、バスダクト、金属ダクト、ライティングダクト、メタモールなど多彩な電気複線ルートが作画可能です。ユーザーが指定した長さに分割することもできます。また、一括でインサートを作画し、同時に耐震基準に沿った吊金物も作画できます。

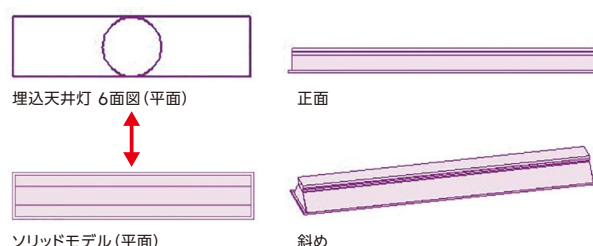


機器・器具

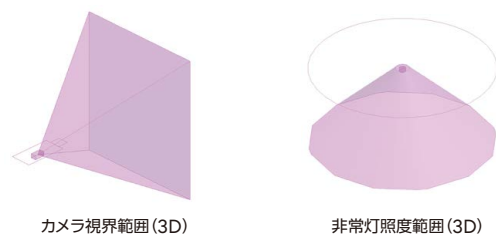
シンボルは(社)日本電設工業協会「J-ECAシンボル」を標準搭載。単独配置、一括配置が可能です。器具配置と同時に、寸法を作画することもできます。複合スイッチや、複合コンセントは、自由な組み合わせで登録し作画できます。



部材は、6面図表現・ソリッドモデルでの形状表現が可能です。電灯は、指定した天井切込寸法での配置や、BOXの有無を設定可能です。



非常灯の照度範囲や、熱感知器範囲、カメラの視界範囲を視覚的に表現することが可能です。



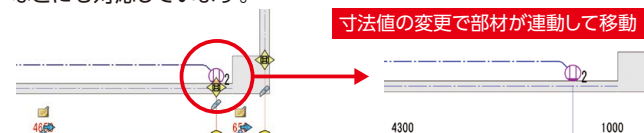
点滅回路

点滅器や照明器具に点滅回路属性を付与すれば、条数自動計算が可能です。イ、ロ、ハを自動連番で付与することができます。



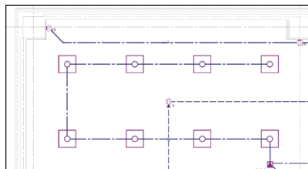
編集

機器の倍率・角度や部材置換、ルート部材移動、レベル変更、条数、末端省略、エンド伏せ、隠線など、多彩な仕上げ、編集が可能です。また、設備寸法の一括・連続作画や、寸法値を編集しての部材連動移動などにも対応しています。

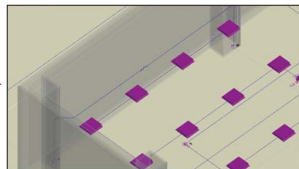


部材変換

汎用CADで作画された電気図面を書き直すことなく、電気部材に変換できます。



2次元設備設計図



CADEWA部材に変換

計算機能 (配線計算・照度計算)

国土交通省建築設備設計基準に沿った「電路計算書 (幹線用)」「電路計算書 (分岐配線用)」「照度計算書」を作成できます。Excel出力にも対応しています。

Excel出力

図面 (ZDW) 出力

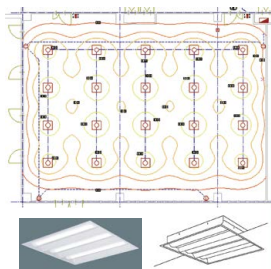
その他、部屋情報を利用し、必要照度に基づく照明器具の検討・配置が可能です。

外部連携

Luminous Planner 連携 (パナソニック株式会社)

パナソニック照明器具データを簡単にシンボル登録可能です。

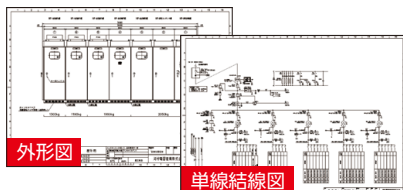
図面上に照度分布図を登録したり、シンボル属性から写真や姿図を図面に配置することもできます。



※Luminous Plannerはパナソニック株式会社の登録商標です。

Qrespo連携 (河村電器産業株式会社)

CADEWAで設定した物件情報を、独自の外部連携取込機能により、河村電器産業の電気設備設計支援サービス「Qrespo」に連携します。Qrespoでトランス容量などを入力すれば、キュービクル図面を作成可能です (外形図、単線結線図、基礎図)。また、同時にCADEWAで読み可能なデータを出力し、重量を加味したキュービクルをCADEWA部材として登録することが可能です。



外形図

単線結線図

※Qrespo (クレスポ) は河村電器産業株式会社の登録商標です。

※Qrespoのご利用には河村電器産業Qrespo事務局へのアカウント申請が必要です。

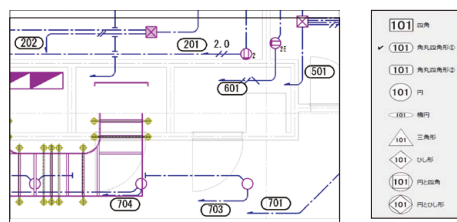
Qrespoアカウント申請: <https://tayori.com/f/qrespoaccount/>

リスト

図面内に作画した配線条数や機器・器具を検索し「電気器具表」「配線注記表」などを自動で作画できます。

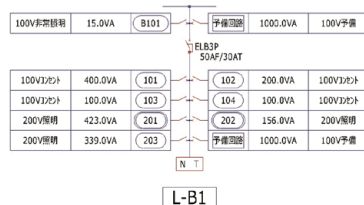
回路番号

回路番号を作画すれば、材料集計の回路別集計や盤図の自動作図が可能です。



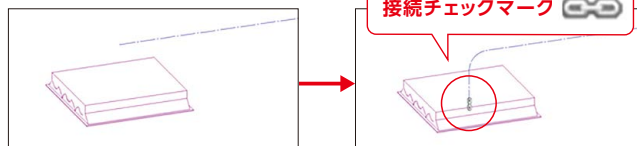
盤図・盤表

図面内に作画した情報を利用して「分電盤図・盤表」「動力盤図・盤表」を自動作図できます。Excel出力 (電灯設備負荷容量集計表) も対応しています。



接続チェック

機器器具とルート (配線含) 同士の接続チェックを行い、未接続箇所を接続することが可能です。



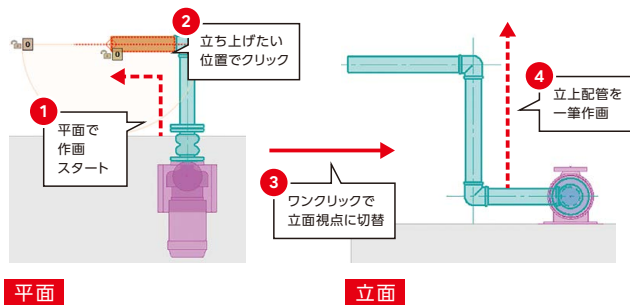
材料集計 (電気)

作画した部材の数量、重量、長さ、電気容量、概算金額などの材料拾いができます。平面での最短長、最長長拾いに対応しています。

- ・作画と同時に (リアルタイム) に集計を実施
- ・図面毎、選択範囲毎などの集計が可能
- ・集計結果をExcel出力

配管・ダクト作画

配管やダクトのルーティングは、プロパティでサイズ・レベル・プリセット（レイヤーや色、線幅など）を設定し、平面・断面を切り替えながら一筆書きで複雑なアップダウンのルートを作画できます。作画途中でサイズを変更すれば、レジューサ・ホッパーが自動発生します。



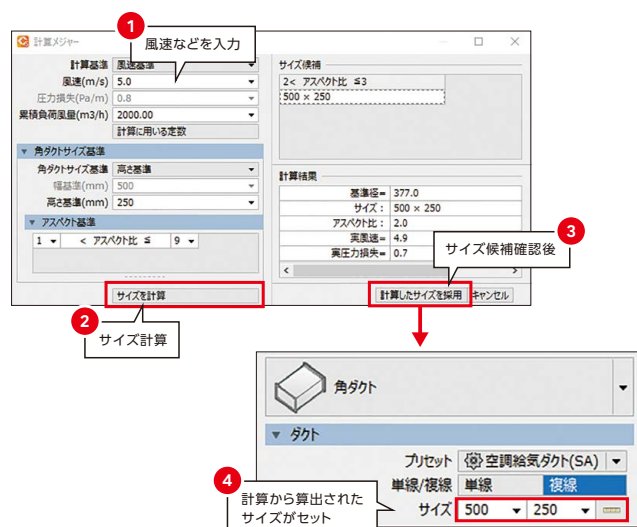
下記のさまざまな計算結果から、配管やダクトのサイズを決定しルート作画することも可能です。

■ 配管

- ・流速又は動水勾配を基にサイズを計算
- ・給水負荷単位を基に給水サイズ計算
- ・累積負荷流量による配管サイズ計算
- ・排水負荷単位を基にサイズ計算

■ ダクト

- ・風速又は圧力損失を基にダクトサイズを計算



機器・器具

標準搭載機器

メーカー提供のCADEWA専用CADデータや空調調・衛生設備CADシンボル基準[SHASE-S001-2005]の他、系統図用機器などを搭載。給水点や排水点から、適切なサイズでの配管作画が可能です。

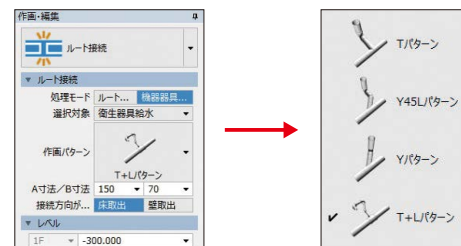
外部連携機器

LIXIL提供のCADEWA専用CADデータ、TOTOホームページからダウンロードした機器、Stem Ver 8,9,10機器、BLCJ BIMオブジェクト標準Ver.2.0機器（予定）を簡単に登録することが可能です。

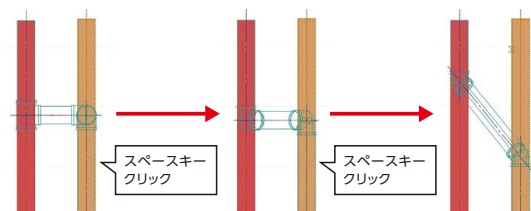


ルート接続

配管やダクトのさまざまな接続パターンを用意し、[スペース]キーを押すことでパターン候補を切り替え、簡単に作画可能です。



配管同士の接続は[スペース]キーを押すことで複数の接続パターン候補を切り替えながら簡単に作画できます。

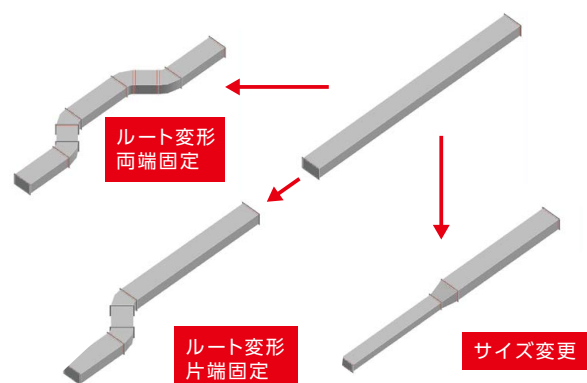
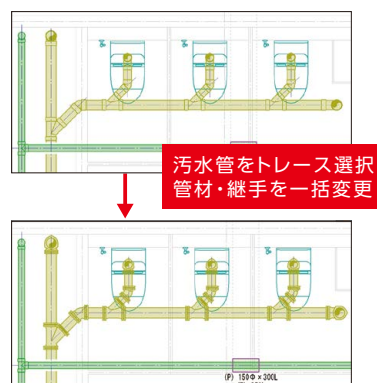


ルート編集

作画済みのルートに対して豊富な編集機能を搭載しています。

- ・ルート移動
- ・ルート伸縮
- ・継手変更
- ・レベル変更
- ・材質変更
- ・ルート変形
- ・サイズ変更
- ・用途変更

配管やダクトのサイズ変更は、機器・器具から負荷単位・風量を取得し適切なサイズにリサイジングすることができます。

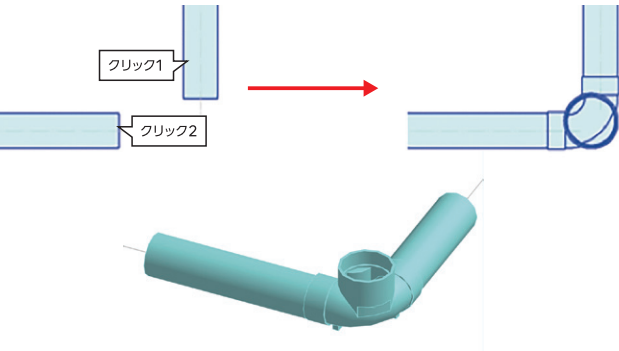


ルート部材登録

システムで用意していない管材、継手、バルブについて、既存部材の名称や呼び径、寸法値などを編集して新しい部材として登録できます。

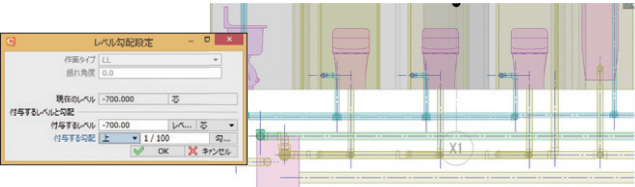
小口径桧のルート部材配置

継手と同様に、ルートを示して小口径桧を配置することが可能です。



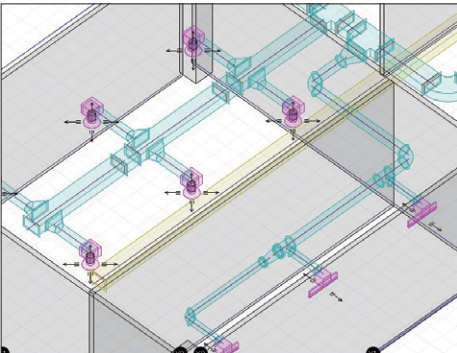
勾配

ルート全体に対して勾配を入力可能。勾配付加後も簡単にルートの移動を行えます。



制気口自動配置

部屋情報設定コマンドを使用することで、部屋名・面積・天井高を取得し、簡易風量計算で算出した制気口(アネモ・ライン)を配置します。

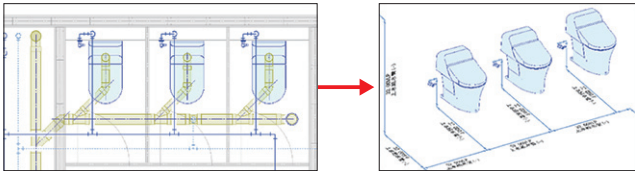


計算機能(静圧計算・揚程計算)

送風機やポンプの能力算定を、条件を変えながらシミュレーションすることができます。計算結果の複数保存、Excel出力が可能です。

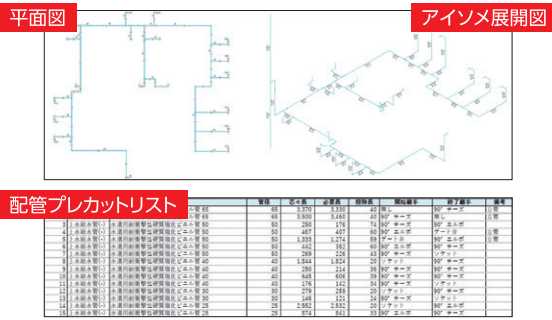
アイソメ展開

施工図から配管アイソメ図を展開することが可能です。アイソメ展開後必要な寸法を作画することが出来ます。



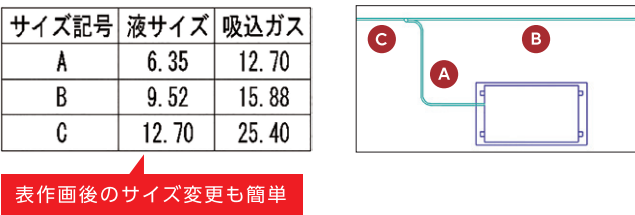
配管プレカット

配管プレカットに必要な情報を一括付与、ナンバリングすることにより、配管の平面図やアイソメ展開図および、パッキン代などを考慮したプレカッタリストをExcel形式で出力可能です。



冷媒サイズ表

冷媒サイズ表を作画し、表のサイズ情報を作画済の冷媒配管に対し付与することが可能です。表作画後のサイズ変更も可能。変更した情報は冷媒配管に反映されます。



リスト

図面内に作画した機器・器具を検索し、衛生器具リストや制気口リストを自動で作画できます。

トイレ	
器具名	個数
ウォシュレット一体形便器 タンクレス CES9788OR	2
自動洗浄小便器 壁掛型 UFS900JS	3
壁掛洗面器 LSF1350C	2
掃除用流し SK322	1
クリーンドライ TYC320W	1

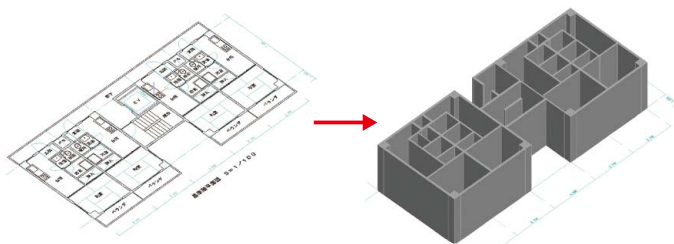
事務所	
用途	器具名
空調給気ダクト (SA)	吹出口 C2 #20
空調給気ダクト (SA)	吹出口 KLS-I 1000W×46H
空調給気ダクト (SA)	吹出口 C2 #20

材料集計

機器・器具の個数、配管の材料や長さ、ダクトの板厚毎の面積などを集計できます。また、保温材・施工場所毎の集計、フレキの本数単位での集計が可能です。拾い根拠リストも作成可能です。

汎用建築図面から3次元建築図へ一括変換

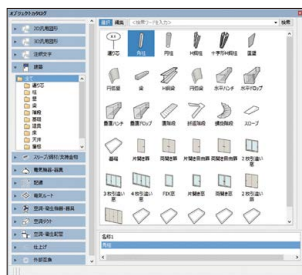
DXFやJWWデータから読み込んだ2次元建築図を「部材変換」によって、効率よく3次元化することが可能です。柱サイズや壁厚を指定し、変換後の高さを設定することで一括変換できます。また、2次元建築図を下絵にトレースし個別に建築化することも可能です。



建築図作画・編集

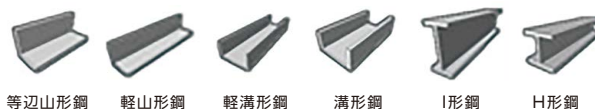
新規で作成する際に必要な部材も豊富に取り揃えています。

- ・通り芯の作画
- ・柱の一括作画
- ・壁の作画、トリミング
躯体表記の同時作画
- ・梁の作画
(H鋼、ハンチ、ドロップなど)
- ・階段
- ・基礎・床・天井・屋根の作画
- ・部屋・ゾーン情報の作画
- ・建具の作画
(両開き扉・引違い窓など)



支持鋼材・支持金物

支持鋼材、組み合わせ鋼材の作画・編集が可能です。



組み合わせ鋼材



3D図形

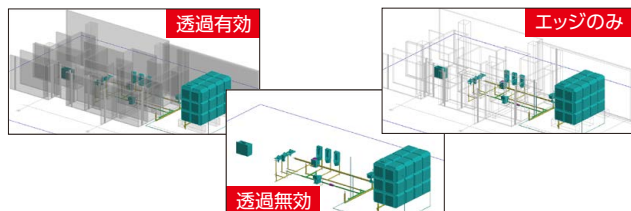
誰でも手軽に3Dを作成できる

3D図形

汎用の3D図形を簡単に作成できます。「押し出し」により2次元の要素を3D図形に。「3D形状」の組み合わせ(和、差、積)により、あらゆる図形が作成可能です。作成した3D図形はユーザ部材登録時にも利用できます。

3D透過度設定

レイヤー毎に3D透過度を設定可能です。利用シーンに合わせて、透過を有効／無効にしたり、オブジェクトのエッジのみ表示にするなど、さまざまな表示パターンを1クリックで切り替え可能です。



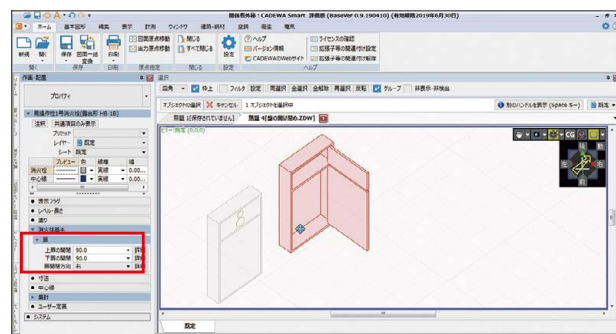
3D-PDF出力

3Dデータを3D-PDFとして出力できます。Androidデバイス、iOSデバイスなどのタブレットにて閲覧できるため、現場や外出先での打ち合せに効果を発揮します。



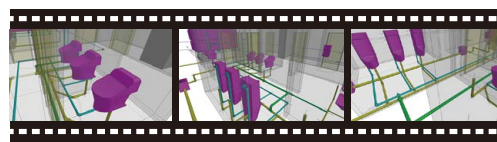
点検口・扉等の開閉

点検口や消火栓などは、扉の開閉が可能です。開閉状態を見ることで取り回し可否やメンテナンススペースの確認ができます。



シーンパネル／ムービー保存

シーンパネルから見たい視点(シーン)を登録し、複数のシーンを繋いだ動画を作成できます。動画は、WMVファイル形式で保存でき、動画再生ソフトで再生できます。また、シーンリストに対しメモを残すこともでき、Excelにリスト出力することが可能です。デザインレビューに活躍します。



WMVファイル

データ互換

読込可能なデータ形式	
CADEWA Smart	*.ZDW
CADEWA Real 2015-2017	*.ZDU
CADEWA Real 2013以前	*.ZDX
CADEWA Evolution	*.ZD3
AutoCAD®	*.DWG (AutoCAD® R14-2022まで)
AutoCAD®のDXF	*.DXF (AutoCAD® R14-2022まで)
JW_CAD for Windows	*.JWW (Ver8.25aまで)
JW_CAD	*.JWC
BE-Bridge	*.CEQ (Ver5.0-7.0まで)
IFC	*.IFC (IFC4,2×3)
Parasolidデータ	*.x_t,*.x_b *.xmt_txt *.xmt_bin
PDF (ベクトルPDF)	*.PDF
SXF	*.SFC,*.P21
Revit®	*.rvt,*.rfa (Revit® 2017-2022まで)
SVGファイル	*.svg

書出可能なデータ形式	
CADEWA Smart	*.ZDW
CADEWA Real 2015-2017	*.ZDUX
AutoCAD®	*.DWG (AutoCAD® R14-2022まで)
AutoCAD®のDXF	*.DXF (AutoCAD® R14-2022まで)
JW_CAD for Windows	*.JWW (Ver7.00-8.25aまで)
BE-Bridge	*.CEQ (Ver7.0)
IFC (設備IFCデータ利用標準V1.3)	*.IFC (IFC4,2×3)
Parasolidデータ	*.x_t, *.x_b
PDF形式、3D-PDF形式	*.PDF
SXF	*.SFC,*.P21
Revit®	*.rvt,*.rfa (Revit® 2020,2021,2022)
STL	*.stl

ご注意
事項

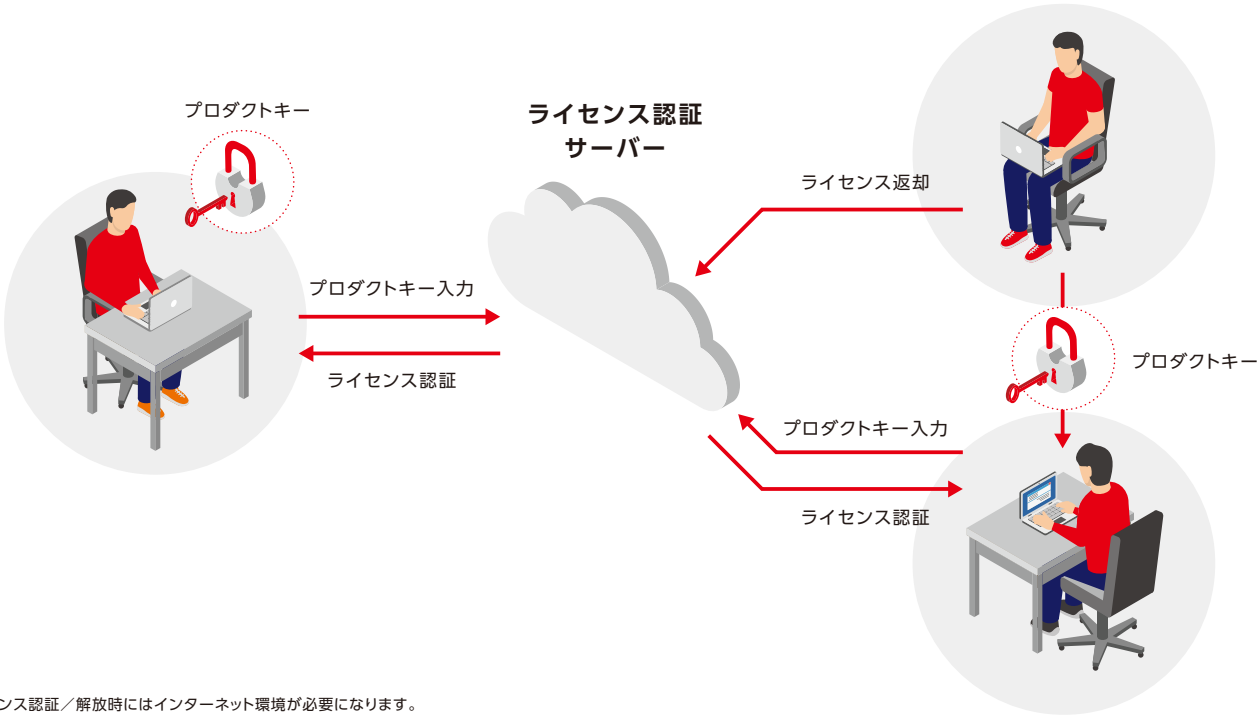
・*.ZDX,*.ZD3読み込みは、形状のみの読み込みになります。(部材変換無し)
 ・Revit®向けに用意しているアドイン「CADEWAマージ」や「整合性チェック」は
 Revit®2020,2021,2022でのみ動作します。

ライセンス

プロダクトキーによるオンライン認証方式にてライセンスが取得できます。ライセンス取得後はオフラインでの運用が可能です(認証後最大30日間)。ライセンスを利用しない場合はライセンスを返却することで、別のPCでライセンス認証ができ、複数人で効率よく運用できます。

ライセンス認証イメージ

ライセンス返却後、別PCの場合の認証イメージ



※ライセンス認証／解放時にはインターネット環境が必要になります。

動作環境

項目		推奨動作環境
OS		Windows11 64bit (ARM版Windows11は未対応) Windows10 64bit (ARM版Windows10は未対応)
CPU		Core i7 , Core i9シリーズ以降 (CPUコア数4コア以上／周波数が高いもの推奨)
メモリ		16GB以上
ハードディスク空き容量		10G以上 (システムドライブにM.2 SSD (NVMe接続) を推奨)
ディスプレイ	解像度	Full HD (1920×1080) 以上
	色数	フルカラー対応
	タッチパネル	任意
グラフィック	OpenGLの対応バージョン	OpenGL 4.0以上
	DirectXの対応バージョン	DirectX 11以上
	性能	OpenGL専用対応カードを推奨
その他		ホイール付きマウス、キーボード、DVD-Rドライブ、インターネット接続環境 (Web認証時)

注意点：上記は推奨動作環境であり、他社CADやBIMツールなどから中間ファイルなどで出力された外部データ互換時は、データサイズやデータ構造によってメモリやハードディスク空き容量を大きく消費する場合がございます。

ラインアップ

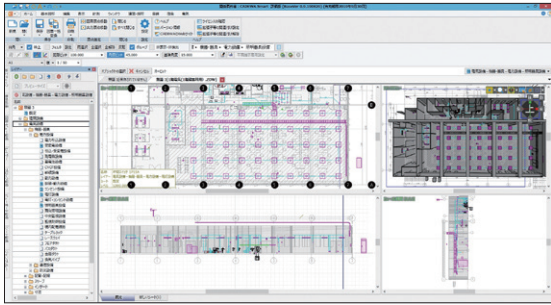
製品名	概要	販売価格
CADEWA Smart	賢さ、材料集計、各種計算機能を搭載したフル機能版	オープン価格
CADEWA Smart LT	平面図作成に特化した機能限定版。フル機能版と100%互換可能	
CADEWA Smart ダクト製作オプション	CADEWA Smartフル機能版のオプション製品 (LT不可) ダクト製作属性を付与し単品図作成可能	オープン価格
CADEWA Smart 保守サービス (1年間)	加入期間中、最新バージョン提供。質問などのサポートQA対応	60,000円／年 (税抜) (1ライセンス単位)
CADEWA Smart 保守サービス ダクト製作オプション (1年間)	加入期間中、ダクト製作オプションの最新バージョン提供。 質問などのサポートQA対応	20,000円／年 (税抜) (1ライセンス単位)

関連商品

	製品名
積算システム	見積CRAFT DX (株式会社 四電工)
	積算らいでん (株式会社 シーエスエー)
	みつもりくん (株式会社 コンプケア)
	PLANEST (株式会社 コスモソフト)

VIEWER

ホームページから無償でダウンロードできます。
CADEWA Smartの図面を誰でも、閲覧・印刷などが可能です。



- 図面閲覧 (360度全方向表示対応)
- 3D-CG表示／断面カット
- 図面印刷・連続印刷
- 距離の計測
- レイヤーON／OFF
- ペーパーレイアウト表示

株式会社富士通四国インフォテック

CADソリューション部

東京事業所 〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25 富士通ソリューションスクエア Tel：03-6381-1778	松山事業所 〒790-0022 愛媛県松山市永代町13番地 (松山第二電気ビル) Tel：089-945-6228 Fax：089-945-5347	開発元 株式会社 四電工 株式会社 富士通四国インフォテック
--	--	--

製品サイト <https://www.fujitsu.com/jp/group/fsit/services/pkg/cadewasmart/>

・CADEWAは株式会社四電工の登録商標です。・記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
・記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示を付記していません。・記載の内容は、2023年3月現在の情報です。予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。